

市議会を視聴して思うこと

○今までは市議会に対して全く興味がなかったが、先日の一般質問を録画して視聴した。長時間見るのは本当に大変だった。

○一般質問でのやり取りについて、議員は事前にタブレットや紙などで内容を知っているのか。また、行政側も、その内容を見て答弁しているのか。

→ 議員）一般質問では、より議論が深まるように、前もって行政側と打ち合わせをしている。打ち合わせをすることで、より踏み込んだ行政側からの答弁を得ることができると感じている。打ち合わせでは、議員から質問の趣旨を行政側に伝え、それを受けて行政側が答弁原稿をつくる。私自身も、議員になったときは、すでに出来上がったやり取りを行うと思っていたが、予定どおりに行かないこともあったり、その場で発展していくこともある。

→ 議員）行政側とは事前に打ち合わせを行うが、答弁原稿は、質問する議員にも一切知らされておらず、当然、他の議員がどのような質問を行うのかも事前に知らない。質問する議員も、やり取りの中で分からないことがあれば、その場で問い直したり、確認を行っている。

→ 議員）本会議場でタブレットを見ているときは、主に、用語の意味が分からない場合にインターネットで調べたりしている。他の議員が深い質問をした場合の用語の確認や、法律の内容などを調べ、理解の助けとして使用している。

○答弁する行政側が、議員の質問をもう一度繰り返しているのは、必要ないのではないか。答弁の前半部分は、どういう質問をしたのか同じことを言っていて、かなり時間を取ってしまっていると感じた。また、ずっと下を向いて話をする職員の答弁は分かりにくく、言葉が難しくついていけないこともあった。

○議員の質問に対して、行政側の答弁のときに同じ内容を繰り返しているように感じる。受け答えを簡潔明瞭にしてほしい。

→ 議員）質問する議員としても、不要な答弁だと感じる部分もあるが、そこをさらに突っ込んで行政側に質問することも必要である。また、1年後にその後の進捗状況を改めて質問したり、物足りない答弁で終わった場合に別の場で改めて取り上げて行政側に追及するようなことも行っている。

○行政側がきちんと答えてくれたという意味なのか、行政側の答弁を聞いて「ありがとうございました」言う議員が多いと思った。問い直している議員もいたが、質問者以外の他の議員が「これはどうなのかな」と思って、議場で発言はできないのか。

→ 議員）一般質問を行う議員は、与えられた時間が通告で決まっており、その時間内で質問するルールになっているが、同じ会派の議員が関連質問を行うことができる。なぜ同じ会派の議員に限定するかと言うと、質問する議員と違う意図で関連質問をすると議論が混乱するため、他の会派の議員はできない制度としている。

○行政側の答弁の際、CTYの画面がずっと同じである。時間も長いいため、何か工夫ができないかと感じる。

- 議員) カメラワークについては、議員の中にも、もっといろんなところを映してはどうかという意見はある。質問中の他の議員の状況などが分かれば、見ていて飽きもなく、新たな発見や興味も出てくると思う。多様なカメラワークができるように意見をしていきたい。
- 議員) 以前、市議会モニターさんからの意見も踏まえ、本会議場に大型スクリーンを設置した。今後ともご意見をいただき、改善に向け努力していきたい。

○議場のカメラは、固定で設置しているものだけか。

- 議員) そのとおりである。2台設置している。

○答弁する職員が、議長席のすぐ下の台で答弁する場合と、自席で答弁する場合の違いは何か。

- 議員) 質問通告の項目に応じて、その大きな項目の最初の答弁は、議長席のすぐ下に登壇して発言し、2回目以降の答弁の際は自席で行う。また、次の質問項目に移ると、最初の答弁は、また登壇して答弁を行うというルールとしている。

市議会だより、ホームページについて

○市議会モニターになってから、議会だよりを読んでいる。審議内容を一読できるが、自分たちの地域に関係ないとそれほど興味は持たないが、関係があればしっかり目を通してしている。

○議会だよりでは、一般質問などの本会議や委員会での質疑の内容が報告されており、十分に理解できるので、必要なものとする。本会議を視聴しようとすると時間が長く大変だが、まとまった内容で理解できる。

- 議員) 議員になる前、最初に議会だよりを読んだ時は、字が多くて内容が難しく理解できなかった。現在の議会だよりは、質問と答弁の部分の背景の色を変えるなど、見やすくなってきていると思う。これからも皆さんからのご意見をお聞きしたい。

○四日市市には広報よっかいちもあり、内容も昔に比べて細かくなっているため、議会だよりと両方読むのは、字が多く目が疲れる。何らかの形で、市議会だよりを広報よっかいちと一緒にできないのかと思う。

○市議会だよりの一般質問のページには、実際には長い時間やり取りする質問と答弁が簡潔にまとめられている。以前よりも写真やイラストも多く、興味を引きそうな内容になっていると感じる。市議会モニターになったのでじっくり読んでみると、よく分からない人にも読みやすく、分かりやすい内容と感じた。これ以上、量を少なくするのは難しいだろうというのが感覚である。

議会運営（全般）について

○議会報告会にぜひ参加したいと思い、前回参加した。いろんな意見や要望が出されて、地元にとっては大変いい取り組みである。回答できないものは、後日また連絡いただく場を設けてほしい。市民のいろいろな意見を聞いて、審議してもらおう議会になっていただきたい。

○議会報告会に出席した。地元住民と議員の皆さんとの質問と回答を聞き、これが本来の姿なんだと感じた。後日、個別の回答を希望したところ、回答を得ることができ、ちゃんとしていただけなんだというのが正直本音であった。市民の中には、本当に困っている方や意見を聞いてほしい方が多いが、報告会という場であったから早く回答がいただけたと感じている。

○市議会モニターからの意見が取りまとめられた資料が先日送付され、各組長に配付した。中身のあつた資料をいただきよかったと思う。

その他

<消防について>

○以前の一般質問で消防の件が取り上げられていたが、地域で活動する消防分団は、非常に人員が減っており困っている。分団の活動に対する助成制度はあるものの、団員への市税優遇や年金積立などの対策に関する議論があればいいと感じた。

<新型コロナウイルス感染症について>

○新型コロナウイルス感染症に関する市民からの問い合わせに対し、誤った情報が伝えられたり、不十分な対応をされる事例があったと聞く。今後また感染者が急増することも考えられるので、さまざまな対策を事前にとっていただきたい。

<災害・危機管理について>

○以前、地域で濁水が発生した際に、スピーカーで情報提供する上下水道局の車のスピードが速すぎて、聞こえなかった。CTYでは情報が流されず、ホームページには掲載されたものの高齢者は見ない。また、災害用の水袋を用意していただいたが、職員の方が水袋の使い方を知らなかった。災害に備え、職員の皆さんでさまざまなことを把握していただきたい。

○私が住む地区は多くが津波の浸水区域となっているが、人口に対し津波避難ビルの収容人数が全然足りない。いくら自助、共助と言っても、避難するところがなければそれもできない。総合計画にもあるように、安心して住めるまちにさせていただくのが私たちの願いであり、議会で取り上げてほしい。

○私が住む地区は人口が多く、避難所に全員が行くことはできない。台風では2階に上がるなど垂直行動をしようと話しているが、地震ではどうになってしまうのか。地区の状況に合わせて避難所の場所を考えていただきたい。

議会を視聴して思う事

○テレビで一般質問を視聴したが、すべて見るには時間がかかるため、全部は見なかった。

○本会議や委員会を視聴しているが、質問をしている議員以外にも部屋全体の様子分かるようなカメラワークをお願いしたい。8月定例会月議会では感染症対策として一部の議員が別室から参加していたとのことだが、別室の様子は分からない。鈴鹿市議会は質問議員以外にも映しているので参考にしてほしい。

→ 議員）市議会モニターや有権者として、質問議員以外にも関心を持っていただく気持ちはよくわかるが、一般質問を放送する目的は、一般質問を通じて議員が持っている市政の問題意識やそれに対する市の考えを市民の皆さんに発信するためである。質問の内容を市民に届けることに重点を置いているため、議場全体を映すことよりも、質問議員に焦点を合わせている。

○質問議員以外の様子も気になる。

○常に映す必要はないが、定期的に映すべきである。

○単調なカメラワークだと飽きてしまうため、議場全体の映像も入れるべきである。

○前列の議員ばかり映るので、後ろに座っている議員の様子も映るようにしてほしい。

○本会議中に眠っているように見える議員もいるが、他の議員が市政を真剣に考えて質問をしているのに、無関心なのはおかしいと思う。全体の様子を映すのは議員の緊張感を高めるためにも有効だと思う。

→ 議員）一般質問では別の会派の議員は発言することができない仕組みになっている。その点も議員の意識を緩めてしまう要因であると考えている。

→ 議員）市民の皆さんが厳しい目で見ているということを各議員がしっかりと意識して会議に臨むことが重要である。いただいたご意見は議会内で共有する。

○委員会では、一部の声の大きい議員の意見に対して、他の議員は反対できない雰囲気があるように思われる。本来、議会は議員間で議論を重ねてより良い市政を目指す役割を有していると思うが、委員会審査の様子からはその機能が弱まっているように感じられる。

→ 議員）委員会審査において議員間討議の場を設けることができるようになっており、複数の委員が意見を出し合っただけで委員会として意見集約していく仕組みを設けているが、いただいた意見は率直な市民の感想として議会内で共有する。

○コロナ禍で傍聴に行くことが制限され、テレビですべて視聴するのも疲れる。会議録が出来上がるのも時間がかかるので、新聞の記事のように議論の概要を速やかに発信するようにしてほしい。

→ 議員）AIによる会議録の作成等についても検討したことがあるが、方言などの発言のくせが影響してうまく活用できなかった。改めて研究してみたい。

○民間企業のように厳しい目線で予算の使い方について議論してほしい。

○一般質問であすなろう鉄道について取り上げている議員がおり、自分の知らないことも紹介していたので興味を持った。全国的な課題を取り上げるより、本市に絞ったテーマで質問をする方が関心

を持ちやすい。

→ 議員) 市の事業は国や県の予算を使ったり、政府の方針に影響されることも多いため、全国的な課題を取り扱うことも少なくない。一方で身近な話題の方が関心を持ちやすいという意見ももっともだと思う。

○交差点の表示について質問をしている議員がいたが、そういった視点からの質問も面白いと感じた。

○身近な話題は委員会審査で取り扱い、本会議では行政の政策方針などを質問すれば良いのではないか。

→ 議員) 身近な話題に関心を持ちやすいという意見もよくわかる。一般質問は複数の項目を質問できるので、個人的には身近な話題も全国的な話題もどちらも取り扱うように意識している。

○新型コロナウイルスに関する質問ばかりになってしまっていた。事前に議会内で質問内容を調整すべきではないか。また、災害に関する質問について、地震や水害を混同しているのではないかと感じることもある。市内でも臨海部と山間部では危惧される災害の種類が異なるため、全国的に事例をしっかりと研究してほしい。

→ 議員) 質問通告が提出されてから質問内容を煮詰めたり、会派で調整する中で他の議員の質問と重複しないように調整することができるが、新型コロナウイルスに関する対応は社会全体を巻き込む大きな潮流であり、どうしても通告内容が被ってしまった事情がある。質問の問題点や論点をはっきりさせ、分かりやすい議論とするために、いただいたご意見は議会内で共有する。

→ 議員) 被災地にボランティアとして行ったことがある。現地に足を運んで理解を深めることは議員として大切なことだと感じた。

○熊本地震の時は、トイレがなくて困ったという話を地元の知り合いから聞いた。本市で災害が起きたときに困らないよう、議員には被災した地域の生の声を拾い上げてもらい、市政に反映してほしい。

○毎回同じ内容を質問している議員がいる。視聴する意欲もそがれてしまうので、議会や会派で調整すべきではないか。また、乱暴な言葉遣いはしてはならないと思う。

○個人のプライバシーに踏み込むような発言は控えるべきである。質問中に議長が制止する場面も見られたが、議員個人がしっかりと意識すべきである。議会と執行部がお互いを尊重したうえで、厳しい議論を重ねてほしい。

→ 議員) 議員には1定例会月議会につき1人30分の質問時間が与えられ、会派内で質問時間を調整する。個人の誹謗中傷は許されないが、市民の投票によって選ばれた議員の“質問をする権利”をどこまで制するかは難しい問題である。議会としても問題意識を持って議事運営に臨んでいる。

市議会だより、市議会ホームページについて

○ホームページは分かりづらく、目的のページになかなかたどり着くことができない。タイトルに日付を記載してもらえると分かりやすい。

○開かれた議会を目指すならば、政治倫理要綱をホームページに掲載すべきではないか。

○市議会だよりの内容は分かりやすい。

○市議会だよりは広報よっかいちと同時配布されるが、広報よっかいちでさえ読まない市民が多いと思うので、市議会だよりはなかなか読んでもらえないのではないかと思う。

→ 議員) 新聞折り込みだと新聞をとっていない世帯には配られず、インターネットやスマートフォンのアプリで読めるようにも対応しているが、スマートフォンを使わない方にも行き届くようにしたい。現状では広報よっかいちと同時配付する方法が一番効果的だと考える。

○広報よっかいちとタイミングをずらして配布するのは連絡員の負担になってしまう。ホームページからアクセスしやすくするなど、インターネットを活用した配信に力を入れてはどうか。

その他

○生活圏内の道路標示が消えているといったことをどのように行政に伝えたらいいかわからないことがある。

○新型コロナウイルスのワクチン接種に関する質問に対する市の答弁が、これまでの受付方法を続けるという趣旨の発言で不満を感じた。コロナ対応については、どの委員会が所管するのか。

→ 議員) 検査等は保健所を所管する教育民生常任委員会、ワクチン接種等は新型コロナウイルス感染症対策室を所管する総務常任委員会が担当する。

○コロナ対応の窓口は一本化した方が良いのではないか。

→ 議員) コールセンターを設置すると委託先に電話がつながるようになり、逆に柔軟な対応ができなくなることがある。特に問い合わせが集中した時期は担当部署も対応に追われていた。

○モニターに配付される書類を綴じるためのファイルを支給してほしい。

○議会報告会に参加したところ、自分も含めて参加者が2名しかいなかった。特に当該地区からの参加者はおらず、運営の見直しが必要ではないかと感じた。

→ 議員) 参加人数の多い会場においても、参加者の固定化等、本来目指している広報広聴を実現できていないという問題意識は感じている。そこで、手法の変更を検討しており、学校等に出向いて報告・意見交換をする方法を考えている。今年度から実施する予定だったが、コロナ禍の影響で実現していない。来年度の実施に向けて議会運営委員会で議論している。

→ 議員) 市民の皆さんに議会報告会や議会だよりに触れてもらえるよう、議会としても様々な検討を行っている。引き続き議会として努力をしていかなければならないが、一方で国民が政治に関心を持ってもらえるように社会のあり方を見直す必要もあると感じている。

市議会を視聴して思うこと

○議員がまじめに取り組んでいる様子が伝わってくる。

→ 議員）中には、質問内容に偏りがあるのではないかというご意見をいただくこともあるが、議員によっては住んでいる地区の課題など、こだわりを持って議会活動を行っていることもある。近年は女性議員数も増え、質問内容も変化してきていると感じる。

○議会を視聴したことはない。議会の映像を視聴する方法をいろいろと紹介してもらったものの、CTYに加入していないためテレビでは見れず、インターネット上で視聴することもできない。DVDを借りることに悩むしさを感じるので、モニター向けに映像を見ることが出来る機器を貸し出すことも検討してほしい。

→ 議員）ご意見として承る。

○一般質問はできるだけ視聴するようにしているが、全員分見るのは大変なので、通告内容を参考に一部議員だけ見ている。夜に開催される議会報告会には参加していない。

→ 議員）すべて見るのは大変なので、興味のある部分だけでも見ていただけるとありがたい。夜の外出に不安を感じる人もいると思うので、いただいたご意見を参考にしたい。

○使われる用語が難しいので、分かりやすい言葉遣いを心がけてほしい。

→ 議員）政府が聞きなれない横文字を使うようになり、世の中全体で分かりにくい言葉があふれてきている印象がある。分かりやすい言葉遣いに気を付けていきたい。

○一般質問において、何度も同じようなやり取りを繰り返している様子が見られた。議員には、もう少し踏み込んだ質問をして、市の答弁を引き出すようにしてほしい。

→ 議員）ご意見として承る。

○CTYの番組をすべて録画して見たが、新型コロナウイルスや信号機の話など、質問内容に偏りがあるように感じた。内容は共感できるものもあれば、そうでないものもあった。また、委員会中継も視聴したが、声がうまくマイクに入っていなかったり、中継されていることを意識せずに発言しているように感じられる場面もあった。委員会が休憩に入ると、休憩中という画面に切り替わり、いつ再開するか分からない。気が付くと、そのまま委員会が終了していたこともあり、不満を感じた。委員会中継は見るだけ時間の無駄だと思う。

市議会だより、市議会ホームページについて

○四郷高校書道部に取材を行った令和2年12月定例会議会号の表紙はとても良いと思う。また、令和3年2月定例会議会・3月緊急議会合併号の表紙も高校生議会の取り組みが伝わってくるので良いと思う。

→ 議員）他市町でも子ども議会等の取り組みはあるが、本市議会では高校生が委員会形式で意見書をまとめるということが特徴である。高校生にも積極的に参加してもらっている。

○小さい文字だと読みづらい。大きな文字で、はっきりとした色遣いで印刷してほしい。

→ 事務局）議会だよりの文字については過去にも広報広聴委員会で議論した経緯があり、議会だ

よりには読みやすいUDフォント（ユニバーサルデザインフォント）を使用している。
→ 議員）文字を大きくするとページ数が増え、その分経費がかかってしまう。そのあたりのバランスも考慮しながら議論しているところである。

○文字を斜体にしたり、色を変えるとかえって見づらくなってしまうことがある。

○発行ごとにだんだんと読みやすくなってきた印象を受ける。

○答弁が「～していきたい。」といった言葉で締めくくられていることが多いが、その後、市が実際にどのような対応をしたのかなど、議会からの働きかけによる成果をまとめて掲載すると良いのではないか。

→ 議員）質問に対するその後の進捗を掲載することについて、検討したい。

議会運営について

○議会報告会に参加したことがあるが、シティ・ミーティングではいくつかのグループに分かれて意見交換をするワークショップ形式の方が意見しやすい。大学の教授にもいろいろとご教授いただきながら内容を理解している。

○議案に対する意見募集について、議案名が長く、いちいち書くのが煩わしいので、附番する欄を設けるなど改善してほしい。また、四日市大学の学生としてモニターになったが、愛知県に住んでおり、電話やファックス番号に市外局番をつけてほしい。

→ 議員）早急に改善する。

その他

<スマートフォンアプリを使ったサービス提供について>

○市が提供するLINEのサービスを利用して見たが、使い方が分からず、通知だけが届くので、怖いと感じた。スマートフォンなどに不慣れな人にとっても使いやすいサービスを考えてほしい。

→ 議員）LINEを使ったサービスは公共機関で広がっているが、一部、情報漏洩を危惧する意見もある。

<投票率の向上に向けた取り組みについて>

○衆議院選挙の当日投票所の受付に従事したところ、会場を間違えて来てしまった方がいたため、本来の会場を伝え、お帰りいただいた。期日前投票所では地区に関わらず投票ができるのに、当日はそれをしないことに疑問がある。投票率を向上させるためにも改善が必要ではないか。

→ 議員）同様の問題意識を持ち、これまでも市に対して質問をしている。市によると投票日当日の共通投票所の設置には二重投票のリスクがあるとのことだが、他市町では実施している事例もあり、今後も投票率向上に向けて働きかけていきたい。

<公共交通について>

○デマンドタクシーが開始されることになったと聞いているが、四日市市は交通の便が悪く、高齢者の免許証返納の動きもあるため、もっと公共交通の充実が必要であると考えます。

→ 議員）議会でも公共交通施策についてさまざまな議論をしている。デマンドタクシーについてもさまざまな意見があったが、まずは始めてみようということで実施に至った。自動運転

等の新技術にも注目している。

- 三岐バスは急遽減便したり、大きく遅れて到着することがあり、接続バスの導入よりもまずは正確な運行をしてほしい。
- バスが到着する時間が安定しないことが気になる。道路渋滞も関係しているのではないか。
- 公共交通、空き家、盛り土等に不安を感じている。特に公共交通について、郊外の団地では高齢化が著しいが、バスは時間がかかり不便で運賃も高いため、高齢者は車を利用している。このままでは駅周辺だけが発展し、地域間格差が広がってしまう。四日市市でもコミュニティバスを導入すべきである。